

平成23年6月15日現在

# 無線従事者国家試験実施基準

(平成13年8月6日総基電第188号)

総務省

## 目 次

1. 適用
2. 試験の実施時期
3. 試験の実施場所
4. 試験問題の作成等
5. 試験の実施
6. 答案用紙
7. 試験問題の配点
8. 電気通信術の採点
9. 合格点
10. その他の試験方法
11. 不正行為等に対する措置

別紙1 各資格の試験科目、問題数、配点、合格点及び試験時間等（無線工学、法規等）

別紙2 各資格の試験科目、問題の形式、字数、配点、合格点及び試験時間等（電気通信術）

別紙3 無線工学の問題に使用する用語及び表現等

別紙4 電気通信術の試験の実施方法

別紙5 答案用紙

別紙6 電気通信術の採点

(適用)

- 1 電波法(昭和25年法律第131号)第40条に定める無線従事者資格に係る国家試験事務は、電波法令の関係規定によるほか、この国家試験実施基準(以下「実施基準」という。)により行うものとする。

(試験の実施時期)

- 2 試験は、毎年2回以上実施するものとする。

(試験の実施場所)

- 3 試験は、総合通信局(沖縄総合通信事務所を含む。以下同じ。)の所在地において実施するものとする。なお、総合通信局長(沖縄総合通信事務所長を含む。以下同じ。)が必要と認める場合(指定試験機関が試験を行うものにあつては、指定試験機関の長が必要と認める場合とする。)には、その他の場所においても実施することができる。

(試験問題の作成等)

- 4 試験問題は次により作成するものとする。

(1) 試験問題の形式等(電気通信術を除く。)

ア 試験問題の形式

試験問題は多肢選択式とし、その問題形式別の内訳は次によるものとする。なお、択一式をA形式、補完式又は正誤式をB形式という。

(7) 択一式

問題に選択肢として3肢から5肢を用意しておき、その中から1の選択肢を解答として選ぶもの。なお、あらかじめ示した3から5の語句の組み合わせの中から、当てはまる1の選択肢を解答として選ぶものを含むものとする。

(4) 補完式

問題に複数の空欄を設けておき、解答のための選択肢として、その2倍程度の語句を示しておいて、その中から各空欄について、それぞれ当てはまる選択肢を解答として選ぶもの。

(ウ) 正誤式

問題の正誤を解答として選ぶもの。

イ 試験問題の問題数等

(7) 各資格の試験科目別の試験問題の構成・問題数及び試験時間は、別紙1によるものとする。

(4) 出題内容(A形式及びB形式の問題数の割合を含む。)は、長期的な均衡性・整合性を考慮する。

(2) 電気通信術の試験問題の形式等

試験問題の形式及び試験時間は別紙2によるものとする。

(3) 試験問題作成上の留意事項

ア 共通事項(電気通信術を除く。)

(7) 試験問題は、出題の意図を明確にし、能力を適正に評価・判定することが可能な形式及び内容とする。

(4) 問題は、1問1主題を原則とする。なお、1問に2以上の主題をおく場合には、問いにその旨を明示する。

(ウ) 試験問題の作成に当たっては、試験時間を考慮する。

(エ) 試験科目別に個々の問題に対応する解答をあらかじめ作成する。

(オ) 他の問題の解答を示唆するような問題は避ける。

(カ) 同一時期に同一の資格を対象とした試験を2回以上実施する必要がある場合には、そ

れぞれ異なる試験問題によって行う。

(キ) 用字及び用語は、常用漢字によるほか通常行われている表記による。なお、必要に応じ、漢字にルビを付すことができる。

イ 無線工学の基礎、無線工学A、無線工学B及び無線工学（以下「無線工学等」という。）

(7) 問題は、できるだけ時代にあった新しい知識、技術を取り入れるものとする。

(イ) 問題に使用する用語及び表現等は、別紙3によるものとする。

ウ 法規

(7) 電波法令、国際条約等の名称は、原則として省略することなく表記する。なお、受験者が判断に迷うおそれがないと認められる限り、簡略な表記をすることができる。

(イ) 電波法令、国際条約等に規定された用語及び用字は、原則として、当該法令または当該条約等にあるとおりに使用するものとする。

(ウ) 問題に電波法令または国際条約等の条文を引用する場合は、問題文の中に所在を明示するものとする。

エ 英語

英語の筆記試験において、特に専門的な単語等を用いる問題については、該当する単語等に係る注釈を付すものとする。

オ 電気通信術

(7) 試験問題は、できる限り多くの異なる文字、数字及び通常使用される記号等を含むものとする。

(イ) 電報形式による問題は、2通または3通からなるものとし、送信には60字を超えるものを1通含むものとする。

(ウ) 送信と受信の問題は、それぞれ別内容とする。

(エ) 同一時期における同一資格の受験者に対する試験問題は、同一のものとする。

(試験の実施)

5 試験は次により実施するものとする。

(1) 英語の試験のうち英会話は、原則として磁気テープ等を使用して、5秒の間隔をおいて試験問題を3回読み上げることにより行う。なお、次の問題との間に1分の間隔をおく。

(2) 電気通信術の試験は、別紙4により実施する。

(答案用紙)

6 試験に使用する答案用紙は、別紙5による。

(試験問題の配点)

7 試験問題の配点は、別紙1及び別紙2による。

(電気通信術の採点)

8 モールス電信及び電話の採点は、別紙6によるものとする。

(合格点)

9 各科目の合格点は、別紙1及び別紙2による。

(その他の試験方法)

10 4から9までにかかわらず、心身の障害により一般の受験者を対象とする試験を受験することが困難な者の試験にあつては、その他の方法によることができる。

(不正行為等に対する措置)

11 受験者が不正行為等を行った場合の措置は、次のとおりとする。

(1) 当該試験の受験中に席の移動を命じることができる場合。

- ア 他の受験者の答案を盗視している疑いがある行為をしたとき。
  - イ 答案の作成上参考となる事項について他の者と話し合いその他の方法により連絡している疑いがある行為をしたとき。
  - ウ 答案の作成に当たって、答案作成上参考となる参考書籍、筆記帳、紙片、その他のものを答案の作成に利用している疑いがある行為をしたとき。
  - エ 試験の円滑な実施上、職員が必要と認めるとき。
- (2) 当該試験についての受験を停止し、退場を命じることができる場合。
- ア 試験中に、正当な受験者に代わって受験していることが判明したとき。
  - イ 答案の作成に当たって、答案作成上参考となる書籍、筆記帳、紙片、その他のものを答案の作成に利用したとき。
  - ウ 職員の指示に従わないとき。
  - エ その他試験場の秩序を乱す行為をしたとき。

資 格	試験科目	問題 数	1問あ たりの 配点	問題 形式	1問あ たりの 設問数	満 点	合 格 点	試験時間	
第一級総合無線通信士 第二級総合無線通信士	無線工学の 基礎	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	無線工学A	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	無線工学B	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	法規	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	地理	4	50	A形式	10	200	120	1時間	
	英 語	英文和訳	2	20	A形式 又は B形式	5	40	60 (注1)	1時間30分
			4						
和文英訳		3	10	B形式	5	30			
	英会話	7	5	A形式	1	35	(注2)		
第三級総合無線通信士	無線工学の 基礎	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	無線工学	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	法規	20	5	A形式	1	100	60	1時間30分	
				B形式	5				
英 語	英文和訳	2	20	A形式 又は B形式	5	40	40	1時間30分	
			4						
	和文英訳	3	10	B形式	5	30			
第一級海上無線通信士 第二級海上無線通信士	無線工学の 基礎	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	無線工学A	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	無線工学B	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	法規	20	5	A形式	1	100	60	2時間30分	
				B形式	5				
	英 語	英文和訳	2	20	A形式 又は B形式	5	40	60 (注1)	1時間30分
				4					
和文英訳		3	10	B形式	5	30			
	英会話	7	5	A形式	1	35	(注2)		
第三級海上無線通信士	無線工学	15	5	A形式	1	75	45	1時間30分	
				B形式	5				
	法規	20	5	A形式	1	100	60	2時間30分	
				B形式	5				

	英 語	英文和訳	2	20	A形式 又は B形式	5 4	40	60 (注1)	1時間30分
		和文英訳	3	10	B形式	5	30		
	英会話	7	5	A形式	1	35	(注2)		
第一級陸上無線技術士 第二級陸上無線技術士	無線工学の 基礎	無線工学A	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分
					B形式	5			
	無線工学B	25	5	A形式	1	125	75	2時間30分	
				B形式	5				
	法規	20	5	A形式	1	100	60	2時間	
				B形式	5				
第四級海上無線通信士	無線工学	18	5	A形式	1	90	63	2時間	
				B形式	5				
	法規	20	5	A形式	1	100	70	1時間30分	
				B形式	5				
航空無線通信士	無線工学	14	5	A形式	1	70	49	1時間30分	
				B形式	5				
	法規	20	5	A形式	1	100	70	1時間30分	
				B形式	5				
	英 語	英文和訳	2	20	A形式 又は B形式	5 4	40	60 (注1)	1時間30分
					和文英訳	3			
英会話		7	5	A形式	1	35	(注2)		

注1 英会話の得点数が15点未満の場合は、英語の試験を不合格とする。

注2 試験時間は、出題内容により30分以内の時間とする。

資格	試験科目	問題数			満点	合格点	試験時間
		問題数	1問あたりの配点	問題形式			
第一級海上特殊無線技士	無線工学	12	5	A形式	60	40	1時間 (注1)
	法規	12		A形式	60	40	
	英会話	5	20	A形式	100	60	(注2)
第二級海上特殊無線技士 航空特殊無線技士	無線工学	12	5	A形式	60	40	1時間 (注1)
	法規	12		A形式	60	40	
第三級海上特殊無線技士	無線工学	10	5	正誤式	50	30	1時間 (注1)
	法規	20		正誤式	100	60	
レーダー級海上特殊無線技士	無線工学	12	5	A形式	60	40	1時間 (注1)
	法規	12		A形式	60	40	
第一級陸上特殊無線技士	無線工学	24	5	A形式	120	75	3時間 (注3)
	法規	12		A形式	60	40	
第二級陸上特殊無線技士	無線工学	12	5	A形式	60	40	1時間 (注1)
	法規	12		A形式	60	40	
第三級陸上特殊無線技士	無線工学	12	5	A形式	60	40	1時間
	法規	12		A形式	60	40	
国内電信級陸上特殊無線技士	法規	12	5	A形式	60	40	30分

注1 無線従事者規則第8条の規定により、無線工学の試験を免除される場合における法規の試験時間は、第一級海上特殊無線技士、第二級海上特殊無線技士及び航空特殊無線技士については30分間、第三級海上特殊無線技士については40分とする。

注2 試験時間は、出題内容により30分以内の時間とする。

注3 無線従事者規則第8条の規定により、法規の試験を免除されている場合における無線工学の試験時間は、2時間30分とする。

資格	試験科目	問題数				満点	合格点	試験時間
		問題数	1問あたりの配点	問題形式	1問あたりの設問数			
第一級アマチュア無線技士	無線工学	30	5	A形式	1	150	105	2時間30分
				B形式	5			
	法規(注1)	30	5	A形式	1	150	105	2時間30分
第二級アマチュア無線技士	無線工学	25	5	A形式	1	125	87	2時間
				B形式	5			
	法規(注1)	30	5	A形式	1	150	105	2時間30分
第三級アマチュア無線技士	無線工学	14	5	A形式	1	70	45	1時間10分
	法規(注2)	16		A形式	1	80	55	
第四級アマチュア無線技士	無線工学	12	5	A形式	1	60	40	1時間
	法規	12		A形式	1	60	40	

注1 30問のうち少なくとも5問は、モールス符号の理解度を確認する問題とする。

注2 16問のうち少なくとも2問は、モールス符号の理解度を確認する問題とする。

資格	試験科目	問題の形式 (種目)		問題の字 数(注1)	配点	合格 点	試験時間
第一級総合無線通信士	モールス 電信	送信	和文(注2)	375	100	210 (注4)	各5分
			欧文暗語(注3)	400	100		
			欧文普通語(注3)	500	100		
		受信	和文(注2)	375	100	210 (注4)	各5分
			欧文暗語(注3)	400	100		
			欧文普通語(注3)	500	100		
直接印刷 電信	送信	欧文普通語	250	(注5)		5分	
電話	送話	欧文暗語	100	100	80	各2分	
	受話	欧文暗語	100	100	80		
第二級総合無線通信士	モールス 電信	送信	和文(注2)	375	100	210 (注4)	各5分
			欧文暗語(注3)	400	100		
			欧文普通語(注3)	500	100		
		受信	和文(注2)	375	100	210 (注4)	各5分
			欧文暗語(注3)	400	100		
			欧文普通語(注3)	500	100		
電話	送話	欧文暗語	100	100	80	各2分	
	受話	欧文暗語	100	100	80		
第三級総合無線通信士	モールス 電信	送信	和文(注2)	210	100	190 (注4)	各3分
			欧文暗語(注3)	240	100		
			欧文普通語(注3)	300	100		
		受信	和文(注2)	210	100	190 (注4)	各3分
			欧文暗語(注3)	240	100		
			欧文普通語(注3)	300	100		
第一級海上無線通信 士、第二級海上無線通 信士、第三級海上無線 通信士	直接印刷 電信	送信	欧文普通語	250	(注5)		5分
	電話	送話	欧文暗語	100	100	80	各2分
		受話	欧文暗語	100	100	80	
航空無線通信士	電話	送話	欧文暗語	100	100	80	各2分
		受話	欧文暗語	100	100	80	
第一級海上特殊無線技 士	電話	送話	欧文暗語	100	100	80	各2分
		受話	欧文暗語	100	100	80	
航空特殊無線技士	電話	送話	欧文暗語	100	100	80	各2分
		受話	欧文暗語	100	100	80	
国内電信級陸上特殊無 線技士	モールス 電信	送信	和文(注2)	225	100	70	各3分
		受信	和文(注2)	225	100	70	

注1 試験問題の字数は、次により計算するものとする。

モールス電信の問題については、モールス符号1個を、電話の問題については、文字1個をそれぞれ1文字として計算する。この場合、モールス符号又は文字とは、問題として示された文字のほか、次のものを指す。

(1) モールス電信

ア 試験開始時の「HRHR」の符号を除くすべてのモールス符号

イ 電報形式において、本文が60字を超えるときに、60字目ごとの字の次に送信する「・・  
ー・・」の次に置く約5秒の間隔及び2通以上にわたるときに、各通間に置く約5秒の間隔  
は、次の字数に換算する。

(ア) 和文の場合 6字

(イ) 欧文暗語の場合 7字

(ウ) 欧文普通語の場合 8字

(2) 電話

「本文」及び「おわり」の語

注2 和文電報形式による。

注3 欧文電報形式による。

注4 各々の問題の形式ごとに、その得点が30点に達しなかったものがある場合は不合格とする。

注5 問題文に従い、200字以上正しく入力された場合は、合格点に達したものとする。

## 無線工学の問題に使用する用語及び表現等

## 1 用語

- (1) 技術用語は、「電子情報通信用語辞典」(電子情報通信学会編集)による。
- ア 電子情報通信用語辞典にないものは、電子情報通信ハンドブック等を参考にし常用されているものを用いる。
  - イ 新用語には、「( )」で旧用語を付記する。
  - ウ 技術用語の日本語が常用されていないか又は紛らわしい場合で、外国語が一般的に使われている場合は、「( )」でその外国語を付記する。
  - エ 外国語は、片仮名で書くものとする。ただし、片仮名で書いた場合、意味が不明確になるおそれがあるときは、「( )」でつづり字を付記する。
  - オ 外国語で出題の意味と異なる意味に解されるおそれのある場合は、「( )」で他の同意語、訳語、つづり字等を付記する。
- (2) 「構成図」及び「回路図」の使い方
- ア 「構成図」は、電気設備を構成する各部を簡単な図形で表し、それらの相互間を線や矢印などで結んで設備の構成を表す場合に用いる。
  - イ 「回路図」は、ある回路や測定器等の原理を説明するために必要な部分を図として表す場合に用いる。
- (3) 「部」、「器」及び「回路」の使い方
- ア 「部」は、送受信機や測定器等を構成する一部の回路を取り出して表す場合に用いる。
  - イ 「器」は、単独の増幅器や発振器等を表す場合に用いる。
  - ウ 「回路」は、理論的な扱いをする場合に用いる。
- (4) 周波数帯の表現は、文章に応じて「L F、M F、H F等」と「長波、中波、短波等」のいずれを用いてもよい。
- (5) 無線機器を表すときは、次の例による。
- (例) 短波無線電話 (A 3 E) 送信機
  - F M受信機
  - S S B送信機

## 2 単位、記号及び略語

## (1) 単位

- ア 単位は、S I単位系を基本とする。
- イ 単位の表示は、「[ ]」でくるものとする。  
なお、「何ボルトか。」「何アンペアか。」等の表現は、片仮名を用いる。

## (2) 図記号及び文字記号

- ア 部品の図記号及び文字記号
  - (ア) 部品を表すときに用いる図記号は、「J I Sハンドブック(日本規格協会編)」に記載されているものを用いることとし、これにない図記号及び文字記号は常用されているものを用いる。
  - (イ) 図の中に同一の部品が多くあるときは、算用数字で一連番号を記号の下部に書き添える。
- イ 部品以外のものの文字記号
  - (ア) 部品以外の電圧、電流等の記号は、電子情報通信ハンドブック及び無線工学ハンドブックを参考にして、常用されているものを用いる。
  - (イ) ベクトル量を表す場合は、ローマ字の大文字(活字体)の上にドット(・)を付ける。また、その絶対値は、 $|I|$ 、 $|E|$ 等と表現する。

(ウ) 回路図等の交流電源の電圧に記号を付ける場合は、設問に応じて瞬時値又はベクトル量で記入する。

(3) 略語

略語は、「電子情報通信用語辞典」による。なお、これに記載がない場合は、電子情報通信ハンドブック等を参考にして常用されているものを用いるが、常用されていると認められない略語については「( )」でつづり字を付記する。

3 図表

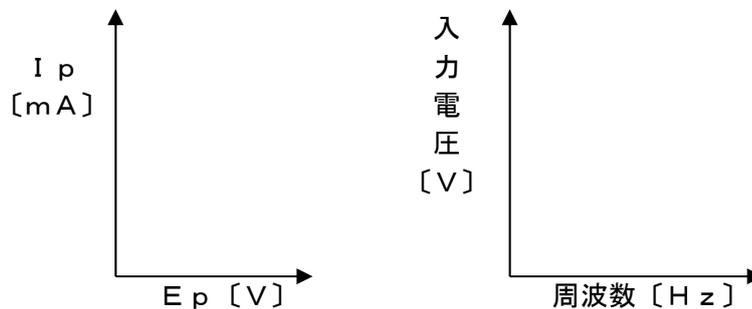
(1) 図を用いた計算問題の場合は、図中のL、C、R、E、I等に数値を記入するものとし、文章中にはこれらは記載しない。なお、図中に数値を記入し難いときは、その部分に「」

R1

等の記号を付し、文中で「R1=10kΩ」等と明記する。

(2) 図表には、数値が明りょうに分かるように記入する。

(3) 特性曲線を描くときの横軸及び縦軸の表示は、次の例による。



4 説明問題の場合

(1) 構成図を示すときは、「[ ]」内にその名称又は記号を記入する。

(2) 構成図の中の「[ ]」内の名称を問う問題は、「[ ]」内に番号又は記号をつける。

(3) 問題に回路図又は構成図を用いる場合は、「図に示す○○の回路図(又は構成図)」と表現する。

## 電気通信術の試験の実施方法

試験場においては、受験者に対して、受験票の提示を求め、受験整理票によって受験番号及び氏名を照合して本人であることを確認した後、試験方法・機器の操作等について所要の説明を行うものとする。

なお、試験を開始した後は、装置の故障その他やむを得ない場合（受験者の個人的理由によるものを除く。）を除き、試験のやり直しは認めないものとする。

また、送信（電話の場合は送話）の試験においては、先に受験する者と後に受験する者の公平性を確保するよう注意するものとする。

## 1 モールス電信

## (1) 送信

ア 送信の試験は、試験問題をモールス符号で受験者が手送りし、これにより発生する低周波発振音を磁気テープ等に録音する方法により行うものとする。

イ 試験開始に当たっては、受験者が電鍵<sup>けん</sup>を調整し及び試験問題を確認するために若干の時間を与えた後、受験番号及び氏名を手送りさせるものとする。

ウ 受験者が「HR」を2回送信し終わったときから計時して所定の時間を経過したとき、「やめ」の合図で終了するものとする。

エ 使用する電鍵<sup>けん</sup>は、原則として、備え付けのものを使用させるものとする。ただし、受験者が独自に持参する場合には、次の条件を満たすものに限り、その使用を認めるものとする。

## (条件)

電鍵<sup>けん</sup>のつまみを操作することによってそれぞれ単一又は連続して点又は線を送出するもので、モールス符号を構成する点及び線の組合せを自動的に送出するものではないものとする。

## (2) 受信

ア 受信の試験は、あらかじめ用意した試験問題を録音済みの磁気テープ等を再生する方法により送信し、これを受験者が聞き取ることにより受信し受信用紙に書き取る方法により行う。なお、試験問題の送信を、磁気テープ等により行うことができない場合は、試験実施者が電鍵<sup>けん</sup>操作を行うことにより、これに代えることができるものとする。この場合の電鍵<sup>けん</sup>操作は、規則第87条第2項に定める試験員の要件を満たす者として、あらかじめ選任された者が行うものとする。

イ 同一資格の試験は、原則として、一斉に行うものとする。

ウ 試験の終了は、試験問題の送信の終了のときから計時して若干の猶予時間を経過したとき、「やめ」の合図で終了するものとする。

エ 書き取りによる方法に代えて、タイプライターを用いた試験を行う場合は、同一試験場において当該資格の受験者全員に対して行うものであって、試験の執行に支障がないと判断し得る場合に限り認めるものとする。

## 2 直接印刷電信

直接印刷電信の試験は、次により実施するものとする。

### (1) 試験装置の準備

- ア 試験装置が、正常に動作することを確認するものとする。
- イ 試験装置は、不測の事態を考慮して、商用電源及び内蔵電池のいずれによっても動作する装置を用いるものとする。
- ウ 試験装置に使用するソフトウェアは、事前に作成し、必要な予備を準備しておくものとする。

### (2) 試験方法

- ア 試験装置は、備え付けのものを使用させるものとする。
- イ 試験は、試験実施者と受験者が一対一で行うものとする。
- ウ 試験装置の鍵盤の試し打ちを希望する者については、10秒間に限り認めるものとする。また、練習文によるものを希望する者に対しては、試験実施者の判断によって適当な時間を認めるものとする。
- エ 試験の開始前に、受験番号及び氏名を受験者の鍵盤操作により画面上に表示させ、試験実施者がこれを確認するものとする。
- オ 試験の開始は、試験実施者の指示等によるものとする。この場合、試験実施者が試験開始の鍵盤の操作を教示して受験者に行わせることとしてもよいものとする。

## 3 電話

### (1) 送話

- ア 送話の試験は、試験問題を口頭で送話させるものとする。
- イ 受験者が試験問題を確認するのに必要な若干の時間を与えた後、開始を指示するものとする。
- ウ 受験者が、「始めます」の語を送話し終わった時から計時し、2分間以内に受験者が「終わり」の語を送話したとき、又は2分間の経過後に試験実施者が「やめ」の合図をしたとき、試験を終了するものとする。

### (2) 受話

- ア 受話の試験は、あらかじめ用意した試験問題を録音済みの磁気テープ等を再生する方法により送話し、これを受験者が聞き取ることにより受信し受信用紙に書き取る方法により行う。なお、試験問題の送話を、磁気テープ等により行うことができない場合は、試験実施者が直接送話することによりこれに代えることができるものとする。この場合の送話は、規則第87条第2項に定める試験員の要件を満たす者として、あらかじめ選任された者が行うものとする。
- イ 同一資格の試験は、原則として、一斉に行うものとする。
- ウ 試験は、試験問題の送話の終了のときから計時して若干の猶予時間を経過したとき、「やめ」の合図で終了するものとする。

第1様式 学科試験用

(1) 無線工学の基礎用 (1総、2総、3総、1海、2海、1陸、2陸)

(通信士・技術士用)

答案用紙 (無線工学の基礎)

(工学)(法規)(英語)(通信術)(工学B)(基礎)(物理)  
(工学A)

氏名	
----	--

受験番号						
00	00	00	00	00	00	00
01	01	01	01	01	01	01
02	02	02	02	02	02	02
03	03	03	03	03	03	03
04	04	04	04	04	04	04
05	05	05	05	05	05	05
06	06	06	06	06	06	06
07	07	07	07	07	07	07
08	08	08	08	08	08	08
09	09	09	09	09	09	09

生年月日					
(年号)	明治	昭和	平成		
	年	月	日		
00	00	00	00	00	00
01	01	01	01	01	01
02	02	02	02	02	02
03	03	03	03	03	03
04	04	04	04	04	04
05	05	05	05	05	05
06	06	06	06	06	06
07	07	07	07	07	07
08	08	08	08	08	08
09	09	09	09	09	09

◎ マーク欄には正しくマークすること。  
マークを間違えたときは、消しゴム  
(プラスチック製に限る。)であとが  
たのないようにきれいに消すこと。

A 問 解 答 欄	A-1	1	2	3	4	5
	A-2	1	2	3	4	5
	A-3	1	2	3	4	5
	A-4	1	2	3	4	5
	A-5	1	2	3	4	5
	A-6	1	2	3	4	5
	A-7	1	2	3	4	5
	A-8	1	2	3	4	5
	A-9	1	2	3	4	5
	A-10	1	2	3	4	5
	A-11	1	2	3	4	5
	A-12	1	2	3	4	5
	A-13	1	2	3	4	5
	A-14	1	2	3	4	5
	A-15	1	2	3	4	5
	A-16	1	2	3	4	5
	A-17	1	2	3	4	5
	A-18	1	2	3	4	5
	A-19	1	2	3	4	5
	A-20	1	2	3	4	5
	A-21	1	2	3	4	5
	A-22	1	2	3	4	5
	A-23	1	2	3	4	5
	A-24	1	2	3	4	5
	A-25	1	2	3	4	5

B 問 解 答 欄	B-1	アイウオ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウエ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
	B-2	アイウオ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウエ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
	B-3	アイウオ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウエ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
	B-4	アイウオ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウエ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
	B-5	アイウオ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウエ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
	B-6	アイウオ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウエ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
	B-7	アイウオ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウエ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
	B-8	アイウオ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウエ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
	B-9	アイウオ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウエ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00
		アイ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	00

◎ 答案用紙は折り曲げたり、巻いたり、汚したりしないこと。

(2) 無線工学及び無線工学A用 (1総、2総、3総、1海、2海、3海、1陸、2陸、4海、航空、1アマ、2アマ)

(通信士・技術士・4海・航空・1アマ・2アマ用)

答案用紙 (無線工学)(無線工学A)

(工学) (法規) (英語) (通信術) (工学B) (基礎) (地理) (工学A)

氏名	
----	--

受験番号						
c0	c0	c0	c0	c0	c0	c0
c1	c1	c1	c1	c1	c1	c1
c2	c2	c2	c2	c2	c2	c2
c3	c3	c3	c3	c3	c3	c3
c4	c4	c4	c4	c4	c4	c4
c5	c5	c5	c5	c5	c5	c5
c6	c6	c6	c6	c6	c6	c6
c7	c7	c7	c7	c7	c7	c7
c8	c8	c8	c8	c8	c8	c8
c9	c9	c9	c9	c9	c9	c9

生年月日					
(年号) 普通 普通 普通 普通					
年	月	日			
c0	c0	c0	c0	c0	c0
c1	c1	c1	c1	c1	c1
c2	c2	c2	c2	c2	c2
c3	c3	c3	c3	c3	c3
c4	c4	c4	c4	c4	c4
c5	c5	c5	c5	c5	c5
c6	c6	c6	c6	c6	c6
c7	c7	c7	c7	c7	c7
c8	c8	c8	c8	c8	c8
c9	c9	c9	c9	c9	c9

◎ マーク欄には正しくマークすること。  
 マークを間違えたときは、消しゴム  
 (プラスチック製に限る。) であとが  
 たのないようにきれいに消すこと。

A 問 題 解 答 欄	A-1	<u>  </u>				
	A-2	<u>  </u>				
	A-3	<u>  </u>				
	A-4	<u>  </u>				
	A-5	<u>  </u>				
	A-6	<u>  </u>				
	A-7	<u>  </u>				
	A-8	<u>  </u>				
	A-9	<u>  </u>				
	A-10	<u>  </u>				
	A-11	<u>  </u>				
	A-12	<u>  </u>				
	A-13	<u>  </u>				
	A-14	<u>  </u>				
	A-15	<u>  </u>				
	A-16	<u>  </u>				
	A-17	<u>  </u>				
	A-18	<u>  </u>				
	A-19	<u>  </u>				
	A-20	<u>  </u>				
	A-21	<u>  </u>				
	A-22	<u>  </u>				
	A-23	<u>  </u>				
	A-24	<u>  </u>				
	A-25	<u>  </u>				

B 問 題 解 答 欄	B-1	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
	B-2	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
	B-3	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
	B-4	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
	B-5	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
ウ		c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
エ		c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
B-6	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
B-7	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
B-8	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
B-9	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	

◎ 答案用紙は折り曲げたり、巻いたり、汚したりしないこと。

(3) 無線工学B用 (1総、2総、3総、1海、2海、1陸、2陸)

(通信士・技術士用)

答案用紙 (無線工学B)

(工学)(法規)(英語)(通信術)(工学B)(基礎)(地理)  
(工学A)

氏名	
----	--

◎ マーク欄には正しくマークすること。  
マークを間違えたときは、消しゴム  
(プラスチック製に限る。) であとが  
たのないようにきれいに消すこと。

受験番号						
00	00	00	00	00	00	00
01	01	01	01	01	01	01
02	02	02	02	02	02	02
03	03	03	03	03	03	03
04	04	04	04	04	04	04
05	05	05	05	05	05	05
06	06	06	06	06	06	06
07	07	07	07	07	07	07
08	08	08	08	08	08	08
09	09	09	09	09	09	09

生年月日					
(年号)		明治	大正	昭和	平成
		年	月	日	
00	00	00	00	00	00
01	01	01	01	01	01
02	02		02	02	02
03	03		03	03	03
04	04		04		04
05	05		05		05
06	06		06		06
07	07		07		07
08	08		08		08
09	09		09		09

A 問 題 解 答 欄	A-1	1	2	3	4	5
	A-2	1	2	3	4	5
	A-3	1	2	3	4	5
	A-4	1	2	3	4	5
	A-5	1	2	3	4	5
	A-6	1	2	3	4	5
	A-7	1	2	3	4	5
	A-8	1	2	3	4	5
	A-9	1	2	3	4	5
	A-10	1	2	3	4	5
	A-11	1	2	3	4	5
	A-12	1	2	3	4	5
	A-13	1	2	3	4	5
	A-14	1	2	3	4	5
	A-15	1	2	3	4	5
	A-16	1	2	3	4	5
	A-17	1	2	3	4	5
	A-18	1	2	3	4	5
	A-19	1	2	3	4	5
	A-20	1	2	3	4	5
	A-21	1	2	3	4	5
	A-22	1	2	3	4	5
	A-23	1	2	3	4	5
	A-24	1	2	3	4	5
	A-25	1	2	3	4	5

B 問 題 解 答 欄	B-1	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
	オ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	B-2	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
	オ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	B-3	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
	オ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	B-4	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
	オ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	B-5	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
	オ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	B-6	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
ウ		c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
エ		c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
オ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0		
B-7	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
オ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0		
B-8	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
オ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0		
B-9	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
	エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0	
オ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0		

◎ 答案用紙は折り曲げたり、巻いたり、汚したりしないこと。

(4) 法規用 (1 総、2 総、3 総、1 海、2 海、3 海、1 陸、2 陸、4 海、航空、1 アマ、2 アマ)

(通信士・技術士・4海・航空・1アマ・2アマ用)

答 案 用 紙 (法規)

(工学) (法規) (英語) (通信術) (工学B) (基礎) (地理) (工学A)

氏 名	
-----	--

◎ マーク欄には正しくマークすること。  
 マークを間違えたときは、消しゴム  
 (プラスチック製に限る。) であとか  
 たのないようにきれいに消すこと。

問 題 解 答 欄	A-1	1	2	3	4	5
	A-2	1	2	3	4	5
	A-3	1	2	3	4	5
	A-4	1	2	3	4	5
	A-5	1	2	3	4	5
	A-6	1	2	3	4	5
	A-7	1	2	3	4	5
	A-8	1	2	3	4	5
	A-9	1	2	3	4	5
	A-10	1	2	3	4	5
	A-11	1	2	3	4	5
	A-12	1	2	3	4	5
	A-13	1	2	3	4	5
	A-14	1	2	3	4	5
	A-15	1	2	3	4	5
	A-16	1	2	3	4	5
	A-17	1	2	3	4	5
	A-18	1	2	3	4	5
	A-19	1	2	3	4	5
	A-20	1	2	3	4	5
	A-21	1	2	3	4	5
	A-22	1	2	3	4	5
	A-23	1	2	3	4	5
	A-24	1	2	3	4	5
	A-25	1	2	3	4	5

受 験 番 号						
00	00	00	00	00	00	00
10	10	10	10	10	10	10
20	20	20	20	20	20	20
30	30	30	30	30	30	30
40	40	40	40	40	40	40
50	50	50	50	50	50	50
60	60	60	60	60	60	60
70	70	70	70	70	70	70
80	80	80	80	80	80	80
90	90	90	90	90	90	90

生 年 月 日					
(年号)		翌	翌	翌	翌
	年		月		日
00	00	00	00	00	00
10	10	10	10	10	10
20	20	20	20	20	20
30	30	30	30	30	30
40	40	40	40	40	40
50	50	50	50	50	50
60	60	60	60	60	60
70	70	70	70	70	70
80	80	80	80	80	80
90	90	90	90	90	90

問 題 解 答 欄	B-1	ア	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
		イ	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		エ	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	B-2	オ	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
		ア	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
		イ	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
	B-3	エ	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
		オ	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
		ア	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
	B-4	イ	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00
		ウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
		エ	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	B-5	オ	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		ア	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
		イ	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
	B-6	ウ	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
		エ	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
		オ	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
B-7	ア	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	
	イ	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	
	ウ	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	
B-8	エ	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	オ	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	ア	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
B-9	イ	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
	ウ	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	
	エ	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	
	オ	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	

◎ 答案用紙は折り曲げたり、巻いたり、汚したりしないこと。

(5) 地理用 (1 巻、2 巻)

(個人用)

答 案 用 紙 (地 理)

(工学)(法科)(英語)(通商)(工学B)(看護)(地理)  
(工学A)

氏 名	
-----	--

◎ マーク欄には正しくマークすること。  
マークを間違えたときは、消しゴム  
(プラスチック製に限る。)であとか  
たのないようにきれいに消すこと。

受 験 番 号							
00	00	00	00	00	00	00	00
01	01	01	01	01	01	01	01
02	02	02	02	02	02	02	02
03	03	03	03	03	03	03	03
04	04	04	04	04	04	04	04
05	05	05	05	05	05	05	05
06	06	06	06	06	06	06	06
07	07	07	07	07	07	07	07
08	08	08	08	08	08	08	08
09	09	09	09	09	09	09	09

生 年 月 日					
(年号)		翌	大正	昭和	平成
年	月	日			
00	00	00	00	00	00
01	01	01	01	01	01
02	02	02	02	02	02
03	03	03	03	03	03
04	04	04	04	04	04
05	05	05	05	05	05
06	06	06	06	06	06
07	07	07	07	07	07
08	08	08	08	08	08
09	09	09	09	09	09

問 題	答				
第1問	1	2	3	4	5
第2問	1	2	3	4	5
第3問	1	2	3	4	5
第4問	1	2	3	4	5
第5問	1	2	3	4	5
第6問	1	2	3	4	5
第7問	1	2	3	4	5
第8問	1	2	3	4	5
第9問	1	2	3	4	5
第10問	1	2	3	4	5
第11問	1	2	3	4	5
第12問	1	2	3	4	5
第13問	1	2	3	4	5
第14問	1	2	3	4	5
第15問	1	2	3	4	5
第16問	1	2	3	4	5
第17問	1	2	3	4	5
第18問	1	2	3	4	5
第19問	1	2	3	4	5
第20問	1	2	3	4	5

問 題	答				
第21問	1	2	3	4	5
第22問	1	2	3	4	5
第23問	1	2	3	4	5
第24問	1	2	3	4	5
第25問	1	2	3	4	5
第26問	1	2	3	4	5
第27問	1	2	3	4	5
第28問	1	2	3	4	5
第29問	1	2	3	4	5
第30問	1	2	3	4	5
第31問	1	2	3	4	5
第32問	1	2	3	4	5
第33問	1	2	3	4	5
第34問	1	2	3	4	5
第35問	1	2	3	4	5
第36問	1	2	3	4	5
第37問	1	2	3	4	5
第38問	1	2	3	4	5
第39問	1	2	3	4	5
第40問	1	2	3	4	5

◎ 答案用紙は折り曲げたり、巻いたり、汚したりしないこと。

(6) 英語用 (1 総、2 総、3 総、1 海、2 海、3 海、航空)

(通信士・航空用)

答 案 用 紙 (英 語)

(工学)(法規)(英語)(通信術)(工学B)(基礎)(地理)  
(工学A)

氏 名	
-----	--

◎ マーク欄には正しくマークすること。  
マークを間違えたときは、消しゴム  
(プラスチック製に限る。) であとが  
たのないようにきれいに消すこと。

受 験 番 号						
c0	c0	c0	c0	c0	c0	c0
c1	c1	c1	c1	c1	c1	c1
c2	c2	c2	c2	c2	c2	c2
c3	c3	c3	c3	c3	c3	c3
c4	c4	c4	c4	c4	c4	c4
c5	c5	c5	c5	c5	c5	c5
c6	c6	c6	c6	c6	c6	c6
c7	c7	c7	c7	c7	c7	c7
c8	c8	c8	c8	c8	c8	c8
c9	c9	c9	c9	c9	c9	c9

生 年 月 日					
(年号)		昭	和	平	成
年	月	日			
c0	c0	c0	c0	c0	c0
c1	c1	c1	c1	c1	c1
c2	c2	c2	c2	c2	c2
c3	c3	c3	c3	c3	c3
c4	c4	c4	c4	c4	c4
c5	c5	c5	c5	c5	c5
c6	c6	c6	c6	c6	c6
c7	c7	c7	c7	c7	c7
c8	c8	c8	c8	c8	c8
c9	c9	c9	c9	c9	c9

英会話問題解答欄

Q-1	1	2	3	4
Q-2	1	2	3	4
Q-3	1	2	3	4
Q-4	1	2	3	4
Q-5	1	2	3	4
Q-6	1	2	3	4
Q-7	1	2	3	4

B 筆記問題解答欄

問 3	B-1	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
問 4	B-2	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
問 5	B-3	ア	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		イ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		ウ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0
		エ	c1	c2	c3	c4	c5	c6	c7	c8	c9	c0

A 筆記問題解答欄

問 1	A-1	1	2	3	4
	A-2	1	2	3	4
	A-3	1	2	3	4
	A-4	1	2	3	4
	A-5	1	2	3	4
問 2	A-6	1	2	3	4
	A-7	1	2	3	4
	A-8	1	2	3	4
	A-9	1	2	3	4

◎ 答案用紙は折り曲げたり、巻いたり、汚したりしないこと。

(7) 法規・無線工学用（海特1、海特2、海特レ、航特、陸特2、陸特3、陸特国、4アマ）

# 答案用紙

（英） （通）

氏名

**【注意事項】**

この答案は、電子計算機で採点しますから、注意事項（○印）を必ず守ってください。

受験番号						
百万位	十万位	万位	千位	百位	十位	一位
00	00	00	00	00	00	00
10	10	10	10	10	10	10
20	20	20	20	20	20	20
30	30	30	30	30	30	30
40	40	40	40	40	40	40
50	50	50	50	50	50	50
60	60	60	60	60	60	60
70	70	70	70	70	70	70
80	80	80	80	80	80	80
90	90	90	90	90	90	90

○マーク欄には正しくマークすること。  
 マークを間違えたときは、消しゴム（プラスチック製に限る。）であとがたのないようにきれいに消すこと。

（記入例）  
 （良い例）       
 （悪い例）               

○生年月日の年月日に1ケタの数があるときは、十位のケタの0にもマークすること。

（記入例） 昭和9年8月1日  
 マークする数字→09 08 01

生年月日									
（年号）		明治		大正		昭和		平成	
十位	一位	十位	一位	十位	一位	十位	一位	十位	一位
年				月		日			
00	00	00	00	00	00	00	00	00	00
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
90	90	90	90	90	90	90	90	90	90

○ 答えは正しいと判断したもの一つにマークすること。

問題		答				問題		答			
法規	第1問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	無線工学	第13問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第2問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第14問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第3問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第15問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第4問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第16問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第5問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第17問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第6問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第18問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第7問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第19問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第8問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第20問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第9問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第21問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第10問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第22問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第11問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第23問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>
	第12問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>		第24問	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>	<u>  </u>

○ 解答用紙は折り曲げたり、巻いたり、汚したりしないこと。



# 答案用紙

(陸特1)

氏名

受験番号						
00	00	00	00	00	00	00
01	01	01	01	01	01	01
02	02	02	02	02	02	02
03	03	03	03	03	03	03
04	04	04	04	04	04	04
05	05	05	05	05	05	05
06	06	06	06	06	06	06
07	07	07	07	07	07	07
08	08	08	08	08	08	08
09	09	09	09	09	09	09

◎マーク欄には正しくマークすること。  
 マークを間違えたときは、消しゴム  
 (プラスチック製に限る。)であとか  
 たのないようにきれいに消すこと。

(記入例)  
 [良い例]   
 [悪い例] 

◎生年月日の年月日に1ケタの数  
 があるときは、十位のケタの0に  
 もマークすること。

(記入例) 昭和9年8月1日  
 マークする数字→09 08 01

生年月日					
(年号)	明	大	昭	平	成
年	月	日	日	日	日
00	00	00	00	00	00
01	01	01	01	01	01
02	02	02	02	02	02
03	03	03	03	03	03
04	04	04	04	04	04
05	05	05	05	05	05
06	06	06	06	06	06
07	07	07	07	07	07
08	08	08	08	08	08
09	09	09	09	09	09

問題		答				
法規	第1問	1	2	3	4	5
	第2問	1	2	3	4	5
	第3問	1	2	3	4	5
	第4問	1	2	3	4	5
	第5問	1	2	3	4	5
	第6問	1	2	3	4	5
	第7問	1	2	3	4	5
	第8問	1	2	3	4	5
	第9問	1	2	3	4	5
	第10問	1	2	3	4	5
	第11問	1	2	3	4	5
	第12問	1	2	3	4	5
無線工学	第1問	1	2	3	4	5
	第2問	1	2	3	4	5
	第3問	1	2	3	4	5
	第4問	1	2	3	4	5
	第5問	1	2	3	4	5
	第6問	1	2	3	4	5

問題		答				
無線	第7問	1	2	3	4	5
	第8問	1	2	3	4	5
	第9問	1	2	3	4	5
	第10問	1	2	3	4	5
	第11問	1	2	3	4	5
	第12問	1	2	3	4	5
	第13問	1	2	3	4	5
	第14問	1	2	3	4	5
	第15問	1	2	3	4	5
	第16問	1	2	3	4	5
	第17問	1	2	3	4	5
	第18問	1	2	3	4	5
工学	第19問	1	2	3	4	5
	第20問	1	2	3	4	5
	第21問	1	2	3	4	5
	第22問	1	2	3	4	5
	第23問	1	2	3	4	5
	第24問	1	2	3	4	5

◎ 答案用紙は折り曲げたり、巻いたり、汚したりしないこと。





(2) モールス電信 (欧文) 用受信用紙 (1巻、2巻、3巻)

A	B	C	D	計

無線従事者国家試験用

欧文送受信用紙

Preamble

To

Text

( ページ )      第      級      受験番号      氏名      得点

(日本工業規格 B 列 5 番)

注 A、B、C及びDの欄は、別に定める採点基準により記載すること。

(3) 電話（欧文）用受話用紙（1総、2総、1海、2海、3海、航空、海特1、航特）

	<b>無線従事者国家試験用</b> 欧文受話用紙		
			得点
			氏名
			受験番号
			資格
			( ページ )

A	B	C	D	計

(日本工業規格A列4番)

注 A、B、C及びDの欄は、別に定める採点基準により記載すること。

## 1 電気通信術（モールス電信及び電話に限る。）の採点

（採点基準）

- (1) 採点は、次の表の基準に従い不良点減点の方法により得点を定めるものとする。ただし、減点すべき点数が100点を越えるときは、100点とする。

採 点 区 分		点 数	
送 信	誤字、脱字、冗字	1字ごとに	3点
	符号不明りょう又は発音不明りょう	1字ごとに	1点
	未送信	2字までごとに	1点
	訂正	3回までごとに	1点
	品位		15点以内
受 信	誤字、冗字	1字ごとに	3点
	脱字、書体不明りょう	1字ごとに	1点
	抹消、訂正	3字までごとに	1点
	品位		15点以内

（採点区分の表示）

- (2) 受信（タイプライターによる場合を含む。）の採点を行う場合は、次表の左欄に掲げる採点区分に従い、同表の右欄に掲げる記号をもって表示するものとする。

採 点 区 分	記 号
誤字、冗字	A
脱字、書体不明りょう	B
抹消、訂正	C
品位	D

（誤字、脱字等の定義）

- (3) 誤字、脱字、冗字等の定義については、次の各号によるものとする。

- ア 「誤字」とは、送信すべき試験問題のそれぞれの文字、数字若しくは記号に相当する符号（語）と明らかに異なって現出（発音）された符号（語）（通話表の使用を誤っているものを含む。）又は受信すべき試験問題のそれぞれの文字、数字若しくは記号と明らかに異なって記載された文字、数字若しくは記号をいう。
- イ 「脱字」とは、送信すべき試験問題のそれぞれの文字、数字若しくは記号に相当する符号（語）のうちこれを漏らした符号（語）又は受信すべき試験問題のそれぞれの文字、数字若しくは記号のうちこれを漏らした文字、数字若しくは記号をいう。
- ウ 「冗字」とは、送信すべき試験問題のそれぞれの文字、数字若しくは記号に相当する符号（語）以外に現出（発音）された符号（語）又は受信すべき試験問題のそれぞれの文字、数字若しくは記号以外に記載された文字、数字若しくは記号をいう。
- エ 「不明りょう」とは、送信により現出（発音）された符号（語）又は受信により記載された文字、数字若しくは記号の書体が不明確であって、他の符号（語）又は文字等と紛らわしい次のようなものをいう。

(7) 符号

- A 1符号中において、その直近する線の2分の1から3分の2の点又は線が含まれている符号
- B 特定の符号に限り、断片的に「割れる」、「抜ける」、「粘る」又は「消える」符号。ただし、低周波発音音が正しく現出されている場合を除く。

(4) 発音

語頭又は語尾がほとんど聴取できない発音

(ウ) 書体

文章としては判読できる場合であっても、単独の1字としては誤読されるおそれのある次のような書体。ただし、明らかに誤字と認められるものを除き、かつ、特定の文字であって全部にわたり習慣的に記載されているものについては、不明りょうとせず品位とする。

注 (区別不明りょうの具体例)

「リ - ソ」  
「ツ - シ」  
「ヒ - 七」  
「マ - ア」  
「セ - ヒ」  
「ニ - ニ」  
「ハ - 八」  
「レ - L (段落)」  
「m - w」  
「n - u」

オ 「未送」とは、試験終了の合図があるまでに送信し終わらなかった文字、数字又は記号その他の字数に算入すべき符号、間隔等をいう。

カ 「訂正」とは、訂正符号又は「訂正」の語の送信を必要とするとしないとにかかわらず、訂正符号又は「訂正」の語の送信をいう。

受信においては、抹消の場合及び抹消による訂正又は改ざんによる訂正の場合をそれぞれ訂正とする。

キ 「品位」とは、各種目の試験ごとに実際通信に即しての影響を想定し、総合的に評定する不良の程度をいう。

(品位の評定)

(4) 品位の評定は、次の各号によるものとする。

ア 次の場合は、その不良の程度に応じてA級(0~2点)、B級(3~6点)、C級(7~10点)及びD級(11~15点)に区分して評定するものとする。

(ア) 送信符号が連続的に「割れる」、「抜ける」、「粘る」、「消える」場合であって、特に調整すれば印字され、又は辛うじて受信可能のときは、C級又はD級とする。ただし、調整不能であり、かつ、低周波発信音が受信不能のときは、採点不能として0点とする。

(イ) 送信符号は、連続的に無間隔ぎみであるが、辛うじて受信可能のときは、C級又はD級とする。ただし、低周波発信音で受信不能のときは、採点不能として0点とする。

(ウ) 送信速度に著しい遅速のあるときは、B級又はC級とする。

(エ) 各送信符号は不明りょうではないが、全般的に不ぞろいのときは、その程度に応じてB級からD級とする。

(オ) 各送信符号の間隔が全般的に不ぞろいのときは、その程度に応じてB級からD級とする。

(カ) 欧文の送信において、語間間隔がない場合又は語間間隔が全般的に過大若しくは不ぞろいのときは、その程度に応じてB級又はC級とする。

(キ) 和文又は欧文を送信する場合に、通間間隔として約5秒の間隔をおかないとき及び和文の送信において本文の字数が60字を越える場合に約5秒の間隔をおかないときは、それぞれの程度に応じてA級又はB級とする。

(ク) 受信用紙の記載欄を誤り又は欄外に記載したときは、その程度に応じてA級からC級とする。

(ケ) 特定の文字、数字又は記号が全部にわたり習慣的に不明りょうに記載されているとき(ネを子と記載するもの、和文の数字をアラビア数字で記載するもの、括弧を「」と記載するもの、区切点を「。」と記載するもの等を含む。)は、その程度に応じてA級

からD級とする。

イ 次の場合は、誤字、脱字又は不明りょうとせず、特に品位としてそれぞれ次のとおり減点するものとする。

- (ア) 訂正符号（「訂正」の語）を送信した場合において、二、三字前に戻らず訂正を要する文字、数字又は記号から送信したときは、1回ごと1点
- (イ) 和文の受付時刻の数字に略体を使用しないとき及び和文（受付時刻を除く。）、欧文の額表の数字に略体を使用したとき、1字ごとに1点
- (ウ) 和文訂正符号「ラタ」の代わりに「HH」を使用したとき及び欧文訂正符号「HH」の代わりに「ラタ」を使用したときは、それぞれ1回ごとに1点
- (エ) 和文終信符号「ラタ」の代わりに「AR」を使用したとき及び欧文終信符号「AR」の代わりに「ラタ」を使用したときは、それぞれ1回ごとに1点
- (オ) 本文符号「ホレ」、特別取扱符号「ホホ」、局内心得符号「ウウ」、欧文訂正符号「HH」等、連結すべき符号を分離して送信したときは、1回ごとに1点
- (カ) 欧文の受信において、不完全な「i」、「j」又は「t」を記載した場合は、暗語のときは、1字ごとに1点、普通語のときは、3字ごとに1点
- (キ) 欧文の受信において、分割すべき語を連結し、連結すべき語を分割して記載したときは、1回ごとに1点
- (ク) 符号間隔が6点相当以上又は欧文の語間間隔が14点相当以上の時は、1回ごとに1点

（不問の取扱い）

(5) 次の各号の場合は、特に不問とする。

ア 電報形式の間隔の各通の間隔に「AHR」を送信した場合

イ 2枚以上にわたり文書形式の問題の2枚目、3枚目等に移る場合において「問符」又は「以上60字」若しくは「2枚目」、「3枚目」等の符号又は語を送った場合

ウ 欧文の送話において、欧文通話表に示されている正しい発音によらないで、次例に示すような多少異なった発音をした場合。ただし、「アルファのA」又は「ブラボウのB」のように発音した場合は、誤字とする。

例

送話すべき文字	送話すべき文字の識別語	正規の発音（国際音標文字による表示）	不問とする発音の例（国際音標文字による表示）
H	HOTEL	hou' tel	hotel
O	ZERO	zerou	zero

エ 電報形式による和文の問題の受信に際して、冒頭、受付時刻の時と分の間又は受付時刻とあて名との区切点を記載した場合

オ 電報形式による欧文の問題の受信に際して、特記事項とあて名と本文の間又は本文と署名との間の二重線を記載した場合

カ 電報形式による和文の問題の送信において、60字目の字に濁点又は半濁点がある場合において、その送信方法として、「・・ー・・」の次の濁点又は半濁点を送信し、次に約5秒の間隔をおいた場合

キ 和文の問題の受信に際して、平仮名、アラビア数字又は横書きで答案を書いた場合（「文はカタカナ、数字は漢数字で、右から縦書きとする。」旨受験者に注意を行った場合を含む。）

ク 受信又は受話の試験において、本文の濁点又は半濁点を付した文字の次に1字分の空欄をおいた場合

ケ 和文の問題の送受信に際して、発信局を番号で表示するときは、発信局に「ハツ」発信番号に「タナ」を送信に際してこれらを前置しなかった場合、又は受信に際してこれらの前置記号を記載した場合

- コ 欧文の問題の送信に際して、発信番号に「NR」を前置しなかった場合、又は受信に際して、この前置記号「NR」を記載した場合

## 2 電気通信術の採点の省略

- (1) モールス電信、電話又は直接印刷電信の送信（電話の場合は送話。以下同じ。）の試験の得点数が別紙2に定める合格点に達しないときは、モールス電信又は電話の受信（電話の場合は受話。以下同じ。）の試験の採点を省略できる。
- (2) モールス電信又は電話の受信の試験の採点途上において、モールス電信又は電話別の各種目の減点数の合計が次表の点数に達したときは、モールス電信又は電話別のその後の採点を省略するものとする。

試験科目	減 点 数
第一級及び第二級総合無線通信士のモールス電信（和文、欧文普通語、欧文暗語）	1 種目の合計 80 点
	2 種目の合計 100 点
	3 種目の合計 100 点
第三級総合無線通信士のモールス電信（和文、欧文普通語、欧文暗語）	1 種目の合計 80 点
	2 種目の合計 120 点
	3 種目の合計 120 点

- (3) モールス電信、直接印刷電信及び電話の試験について、そのいずれかの試験の得点数が合格点に達しないときは、他の受信の試験の採点を省略できる。